

エコアクション21 環境経営レポート



対象期間 令和5年1月～令和5年12月

発行日 令和6年 1月20日

株式会社 佐藤建設

1. 会社概要

2F：株式会社佐藤建設事務所

商号 株式会社 佐藤建設
代表取締役 佐藤 寛

所在地 〒808-0102
本社：北九州市若松区東二島2丁目2番19号
倉庫：北九州市若松区東二島2丁目4番3号



法人設立年月日 昭和54年5月1日

環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者名 佐藤 寛
連絡先 TEL 093-701-1547 FAX 093-701-1832
e-mail sato-1@jasmine.ocn.ne.jp

事業内容 建築工事の設計及び施工

許可 建設業許可 福岡県知事許可 (特一2) 第59239号
1級建築士事務所登録 第1-61361号
産業廃棄物収集運搬業 (福岡県) 04000206574 (自社運搬のみ)

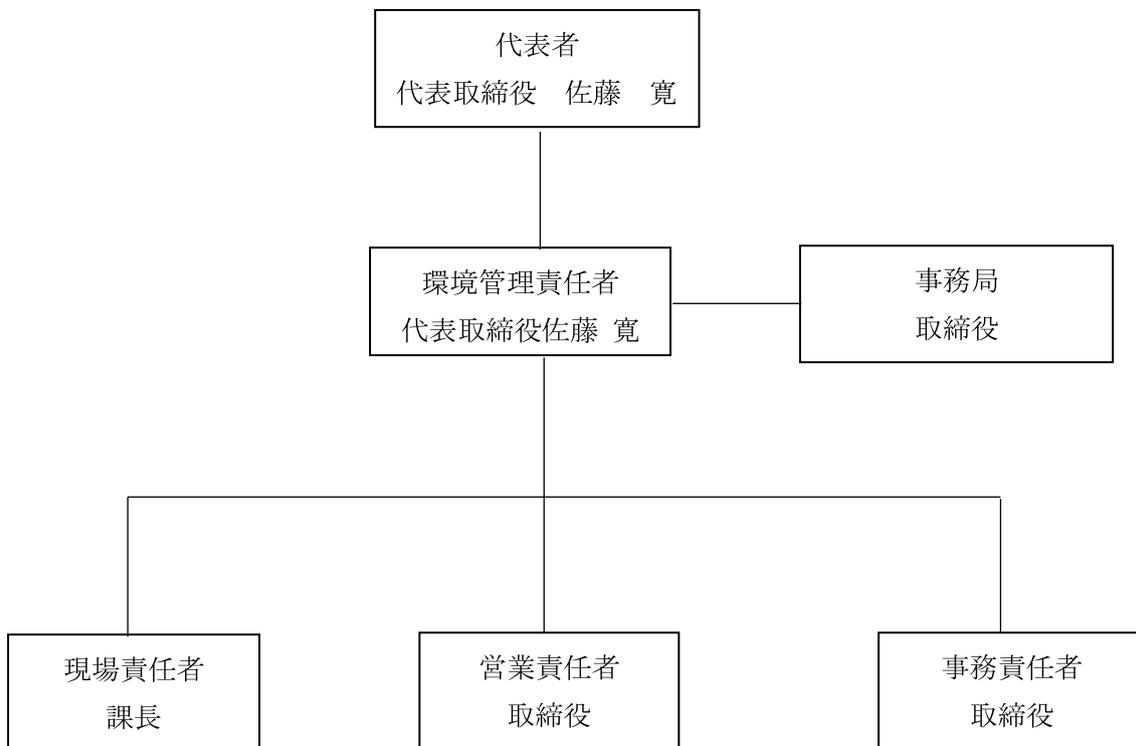
事業規模

資本金 3,000万円
売上 350百万円 (令和5.1月～12月)
従業員数 7人 (令和5年1月現在)

事業年度 5月～4月

認証・登録の範囲 全社・全活動
対象事業所 本社
事業活動 建築工事の設計及び施工

2. 環境経営推進体制



経営責任者	環境経営全般に対する責任と権限 環境経営方針の策定と社員への周知 全体の評価と見直し 実施体制の構築
環境管理責任者	環境経営活動の推進 環境経営目標及び環境経営計画の作成
事務責任者	各部門のデータのまとめ 活動計画の実績管理 環境管理責任者の補佐 文書、記録の管理
現場責任者	環境計画の実施 月部門データの集計 従業員教育

3. 環境経営方針

環境経営理念

株式会社佐藤建設は豊かな未来の創造の為、建物の新築、修繕、改築工事を通じて、地球環境の保全と社会の発展の調和を目指した企業活動を行い、社会貢献に努めていきます。

行動指針

環境経営システムを構築・運用し、環境負荷の低減を継続的に推進します。そのために以下の事項を重点的に取り組みます。

1. 建設廃棄物の仕分けを行い、3Rに努めます。
建設廃棄物の発生抑制、工事の際に発生する建設廃棄物を種類分けを行い、混合廃棄物としての処理を減らし、再生利用、再利用の促進に努めます。
2. 二酸化炭素排出量削減に取り組む
 - ①電気、水道、ガス、ガソリン等の使用エネルギーの削減に努めます。
 - ②エコカーへの買い替え又はリースの検討をします。
 - ③アイドリングストップの徹底を図ります。
- 3.各工事現場において、地域住民とのコミュニケーション、地域環境に配慮した工事の徹底を図ります。
- 4.事業活動に関連する環境関連法規を遵守します。
- 5.全従業員にこの環境方針を周知、徹底させ、広く一般に公表します。

制定日 令和1年10月1日

株式会社 佐藤建設
代表取締役 佐藤 寛

・環境経営方針をふまえて、下記の通り環境経営目標を設定した。

4.環境経営目標 なお項目1-4の削減目標は、基準値をベースに前年比1%削減率を設定している。

環境目標		単位	場所	基準年度(2年平均)		目標			
				H29/H30年度	実績平均	R3.1~12	R4.1~12	R5.1~12	R6.1~12
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	合計	29,605	28,716 (-3%)	28,421 (-4%)	28,125 (-5%)	27,829 (-6%)
	1-1	電力使用量の削減	kWh	事務所	7,992	7,752	7,672	7,592	7,512
				倉庫	315	305	302.4	299	296
				現場	5,996	5,817	5,756	5,696	5,636
			合計	14,303	13,874 (-3%)	13,730 (-4%)	13,587 (-5%)	13,445 (-6%)	
	1-2	ガソリン使用量の削減	ℓ	現場	8,269	8,021	7,938	7,855	7,773
1-3	軽油使用量の削減	ℓ	現場	1,155	1,120	1,109	1,097	1,086	
1-4	灯油使用量の削減	ℓ	事務所	893	866.21	857	848	839	
2	水使用量の削減		m ³	事務所 現場	41	40	39	39	39
3	産業廃棄物排出量の削減		kg	現場	20,748	20,126	19,918	19,710	19,503
4	一般廃棄物排出量の削減		kg	事務所	224	221.76	219.52	217.28	215.04
5	環境配慮施工				—	随時行う	随時行う	随時行う	随時行う
	5-1	地域住民、周辺環境に配慮した工事、施工			—	随時行う	随時行う	随時行う	随時行う
	5-2	無事故、無災害の推進			—	随時行う	随時行う	随時行う	随時行う
	5-3	省エネ車両への更新			—	随時行う	随時行う	随時行う	随時行う
6	会社周辺の清掃				—	月4回	月4回	月4回	月4回

※電気の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2020年度調整後排出係数0.365(kg-CO₂)/kWhを使用して算出している。

※目標値の65%未満なら是正措置を取ります。

5. 環境経営目標の実績

・令和5年1月～12月の期間における経営目標の実績は以下の通りであった。

環境経営目標		単位	場所	基準年度	目標	実績	評価	
				H29/H30年度 実績(平均)	R5年 1～12月	R5年 1～12月		
1	二酸化炭素排出量削減		Kg-CO ₂	合計	29,605	28,125	25,113	○
	1-1	電力使用量削減	kWh	事務所	7,992	7,592	7,318	○
				倉庫	315	299	50	
				現場	5,996	5,696	4,556	
				合計	14,303	13,587	11,924	
	1-2	ガソリン使用量削減	ℓ	現場	8,269	7,855	6,796	○
	1-3	軽油使用量の削減	ℓ	現場	1,155	1,097	629	○
1-4	灯油使用量の削減	ℓ	事務所	893	848	1,354	×	
2	水使用量の削減		m ³	事務所	41	39	35	○
3	産業廃棄物排出量の削減		kg	現場	20,748	19,710	33,875	×
4	一般廃棄物使用量の削減		kg	事務所	—	217	179	○
5	環境 配慮 施行	地域住民、周辺環境に配慮した 工事施工		—	随時行う	随時行う	○	
		事故無災害の推進		—	災害 0	災害 0	○	
		省エネ車両への更新		—	計画検討	計画検討	○	
6	会社周辺の清掃			—	月4回	月4回	○	

※電気の実績の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2020年度調整後排出係数0.365(kg-CO₂)/kWh
を使用して算出している。

6. 環境経営計画、計画に基づき実施した取組内容

二酸化炭素排出量削減の取組				
電気使用量の削減		具体的取組内容	担当	評価
事務所	①不使用時の消灯	未使用時のOA機器の電源OFF、日中はなるべく電気を使わない等、こまめな消灯を心がける	佐藤	○
	②エアコンの設定温度管理	夏季は冷房28℃、冬季は暖房20℃に設定する	佐藤	○
	③照明器具、空調器の定期清掃	半年毎に照明器具、空調器の定期清掃を行う	佐藤	○
	④LED照明への更新	照明器具の買い替えの際はLED照明へ更新する	佐藤	○
現場	①不使用時の消灯	未使用時のOA機器の電源OFF、日中はなるべく電気を使わない等、こまめな消灯を心がける	佐藤	○
	②エアコンの設定温度管理	夏季は冷房28℃、冬季は暖房20℃に設定する	佐藤	○
倉庫	①不使用時の消灯	日中はなるべく電気を使わない等、こまめな消灯を心がける	佐藤	○
ガソリン、軽油使用量の削減		具体的取組内容	担当	評価
事務所	①ストーブの使用を控える	ストーブの使用をなるべく控える、使用時は窓をしっかりと閉める	佐藤	○
	②車両の急発進、急加速をなくす	安全運転、低燃費を心がける	佐藤	○
	③車両の定期点検、タイヤ空気圧のチェック	日常的に点検を行う	佐藤	○
現場	①建設機械のアイドリングストップ	エンジンを掛けたままの休憩等をなくす	佐藤	○
	②不要な荷物は積まない	工具類・荷物を最小限に整理し、積載量を厳守する	佐藤	○
	③ルートの見直し	現場までの最短ルートを検討する	佐藤	○
	④車両の定期点検、タイヤ空気圧のチェック	日常的に点検を行う	佐藤	○
	⑤走行距離の把握	走行距離を把握することにより、低燃費を心がける	佐藤	○

水使用量削減の取組		具体的取組内容	担当	評価
事務所 現場	①節水ラベルの掲示	洗面所やトイレ等、従業員の目の届く場所に節水ポスターやラベルを掲示する	佐藤	○
	②定期的な漏水確認	定期的に水道メーターの確認、水道管からの水漏れがないかチェックする	佐藤	○
	③洗車の水使用量を減らす	洗車の際に水の使用量をなるべく減らすように心がける	佐藤	○

廃棄物排出量削減の取組				
産業廃棄物		具体的取組内容	担当	評価
現場	①分別によるリサイクルの推進	混合廃棄物をなくし、分別を徹底する	佐藤	○
	②マニフェスト管理の徹底	5年間の保存	佐藤	○
	③再利用可能な資材の活用	再利用できる資源は再利用するように心がける	佐藤	○
一般廃棄物		具体的取組内容	担当	評価
事務所	①分別によるリサイクルの推進	行政のルールに則り分別を徹底する	佐藤	○
	②ミスコピーを減らす	コピーをする前に確認、データ化によるペーパーレスに取り組む	佐藤	○
	③裏紙の利用	メモ用紙等に活用する	佐藤	○

環境配慮施工		具体的取組内容	担当	評価
事務所 現場	工事の品質、サービスの向上に努める	地域住民、周辺環境に配慮した工事を行う	佐藤	○
		徹底した安全管理を行い、従業員が働きやすい環境を提供する	佐藤	○
		環境に配慮した施工方法を常に模索し、顧客満足と環境配慮を両立させる	佐藤	○

評価基準	
○	積極的かつ日常的に取り組めた
△	意識しないと取り組めなかった
×	取り組めなかった

7. 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価 次年度の取り組み内容

二酸化炭素排出量削減の取組

目標値を達成できた。
前回に引き続き、アイドリングストップを心掛けた。
暑い際は、日陰になる所を探し、エンジンかけたままの休憩を控えた。
次回も引き続き削減に努めたい。

電力使用量の削減の取組

前回に引き続き、待機電力の削減及びこまめな消灯を心がけ、使っていない部屋は電気を消した。夏はエアコンを控え、換気をすることにより空気の入替える事も出来ました。結果削減にもつながったと思います。これからも電気のつけっぱなしに注意したい。

ガソリン、軽油、灯油使用量の削減の取組

ガソリン・軽油は目標値を達成できた。しかし、灯油は未達成となった。今年の冬は特に寒かったことが考えられる、服の中にヒートテックなど寒くないよう防寒対策をし、ストーブの使用を控えられるように心がけたい。

水使用量の削減の取組

目標値を達成することができた水の出しっぱなしをしないよう意識した。
これからも削減できるように心がけたい。

産業廃棄物排出量削減の取組

産業廃棄物排出量の削減、目標値を達成出来ませんでしたが、これからは、**3R**を意識して、今回よりも削減できるように努めたいと思います。

一般廃棄物排出量削減の取組

前回は引き続き一般ごみと資源ごみの分別を細かく行い、削減に努めた。
これからもゴミの分別をしっかりしていきたい。

環境に配慮した工事の施工の取組

地域住民からのクレーム、工期の遅れなどもなく、順調に取り組むことができた。
今後もこの結果を継続していきたい。

会社周辺の清掃の取組

毎週欠かさず清掃を行っている。
ポイ捨てされないように目につきやすい色の張り紙をした。
結果ポイ捨ての量が減った。
今後も引き続き継続していきたい。

8.環境関連法規などの遵守状況

法律名等	規制対象業務	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	自社運搬の場合	産業廃棄物の収集、運搬基準の遵守 運搬車両への標示 運搬内容の記載と常時携帯	○
	処分委託の場合	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守 許可業者へ委託 マニフェストの交付 マニフェストの保管(5年間) マニフェスト交付状況の定期報告	○
建築基準法	業務全般	建築設備などの要求事項の遵守 用途規制などの要求事項の遵守	○
騒音規制法	特定建設作業 適用指定地域	知事へ7日前までに届出 作業敷地境界にて85デシベル以下	○
振動規制法	特定建設作業 適用指定地域	知事へ7日前までに届出 作業敷地境界にて75デシベル以下	○
建設リサイクル法	一定規模の解体・建築・土木工事	届出書の提出、規制基準の遵守	○
資源有効利用促進法	業務全般	建設工事から生ずる建設副産物の発生抑制、再利用、再生利用、再資源化	○
建設業法	業務全般	建設業許可の取得 専任の技術者、監理技術者の設置 建設業許可の更新(5年毎)	○
グリーン購入法	一部の事務用品	対象製品の購入	○
フロン排出抑制法	事務所	エアコンの定期点検	○

該当している環境関連法規は遵守しており、違反はありません。過去3年間訴訟等ありませんでした。

9.代表者による全体の評価と見直し

今回、令和5年1月～12月の活動をまとめました。

それぞれの取組で削減が出来たのでよかったですと思います。
目標値より削減できなかった個所は来年削減できるように意識していきたいと思います。

来年は、今年の数値よりもっと削減できるように社員全員で努めていきます。